

まちの話題



迫力ある古式鍛錬

刀剣の魅力を満喫

びぜんおさふね名刀まつり

備前おさふね刀剣の里で10月5日、「びぜんおさふね名刀まつり」が開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

鍛刀場では、刀鍛冶による迫力ある古式鍛錬を、刀剣工房では刀職人が一堂に会し、刀の研ぎや鞘の制作作業工程を披露。来場者は、興味深そうに間近で見学していました。

ステージでは、オープニングに宇喜多軍団・浦上軍団の武者に扮した片上コミュニティ協会（備前市）のメンバーが、ほら貝を吹き鳴らしながら登場。その後、「美和っ子太鼓」「名刀太鼓」の勇壮な演奏や栗利郷・綾浦に伝わる太刀踊が披露され、祭りを盛り上げていました。

よらい かがと 鎧・兜を身にまとった武者姿の片上コミュニティ協会（備前市）の皆さん



美和っ子太鼓の勇壮な演奏に多きな拍手が送られました

敬老の日で長寿を祝う

101歳の服部雄二さんを知事が訪問

敬老の日の9月15日、101歳で元気に農業を続けている服部雄二さん（牛窓町牛窓）宅を石井正弘知事が訪問し、長寿をお祝いしました。

現在もハクサイの植え付けのため畑に出て農作業を行うなど、活動的に過ごす服部さん。知事からお祝い状や赤

いちゃんちゃんこを手渡されると、「感慨無量です。これからも一日一日を大切に過ごします」とお礼を述べました。

服部さんの長寿の秘けつは、腹七分目の食事と規則正しい生活。服部さん、これからもお元気で過ごしてください。

い。



赤いちゃんちゃんこを着て石井県知事と握手する服部さん（中央）

身近な川の魚を知ろう

かがと川・お魚学習会

ゆめトピア長船と香登川で10月4日、市教育委員会主催の「かがと川・お魚学習会」が開催されました。

生物観察を通じ、環境保護の意識を高くしようと市内の小学生親子ら43人が参加。

参加者は香登川に入り、網でメダカ、タナゴやスジシマドジョウなど27種類も

の淡水魚を多数採取。水槽に入れ、魚の様子を観察したり、その生態について学習したりしました。「身近な川に、いろんな知らない魚がいることを知って、驚きました」と話す参加者。

参加した皆さんは、水辺の宝ものである魚をみんなで守ることの大切さについて、考えていました。

エコライフを始めよう

環境フェスタインせとうち

リサイクルプラザ・おくとは思えない出来栄なくで10月5日、「できることからはじめよう！エコライフの輪」をテーマに、環境フェスタインせとうちが開催されました。

会場では、さまざまな廃物を利用したエコ製品作りにより、多くの皆さんが参加。廃油を凝固剤と一緒に空きびんに流し込んだエコキャンドルや新聞紙のカラーページで作るプローチなど、廃物利用

ちょっとした節約や工夫の積み重ねで、環境にやさしい暮らしが送れるように、みんなのできることから始めてみましょう。



廃油を使ったエコキャンドル作りを楽しむ子どもたち

共に生きる大切さを考える

人権フォーラム2008

「ハンセン病のこと、エイズのこと、共に生きるということ」をテーマに9月20日、ゆめトピア長船で人権シンポジウムが開かれました。

感染症に対する差別や偏見を解消し、正しい認識を深めてもらうと厚生労働省などが主催。当日はシンポジウムと合わせて沖縄の学生たち有志による演劇「光の扉を開けて」を上演。

真実と向き合う勇氣の大切さを熱のこもった演技で表現し、会場に詰めかけた多くの人が感銘していました。



沖縄の学生たちによる熱のこもった劇に聴衆は見入っていました